

令和5年度第1回愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

書面会議確認事項について

令和5年度第1回愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会（書面開催）において意見確認書により頂戴した意見は以下のとおりです。

【議題】

- 1、当市における人口の現状について
- 2、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

（意見集計結果）

市の考えに同意します ⇒ 18人

市の考えに意見します ⇒ 1人

市の考えに同意・意見します ⇒ 1人

1、「当市における人口の現状について」

意見	考え
他市町村との流入合戦もあるが、市内部から増えるイノベーティブな人口政策対策を期待する。	全国的に人口減少・高齢化が進む中、愛西市においても持続可能なまちづくりが必要です。
社会的問題でもある人口減少は直ちにに取り組むべき案件であり、真剣に考慮すべきであり、市独自の少子化対策や移住・定住施策に力を入れることに対しては、全面的に賛成であり、具体的な方法等を市民に公表すべきと考える。（例：市街化の拡大など）	愛西市の人口移動の特徴として、小学校入学を機に転入するという傾向があるため、令和4年度には、出産期や子育て期に伴走型相談支援に合わせて応援ギフトとしてそれぞれ5万円を支給する出産・子育て応援事業を新しく展開し、子育て世代が戻ってきたいと思える環境づくりに努めました。 市独自の施策を含め、市が実施する事業については、ホームページや広報等で広く周知をしておりますが、今後も市内外の方々に情報をお届けできる仕組づくりを工夫してまいります。

2、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について」の意見について

意見	市の考え
プレミアム付愛西商品券2022事業について、津島市との比較（プレミアム率50%）での意見を聞いている。	愛西市のプレミアム付あいさい商品券2022のプレミアム率については、この臨時交付金を活用する事業が他にもある中、 ①広く多くの市民に平等に購入いただきたいとの考えのもと、市内の全世帯が1セットは購入できるよう販売冊数を設定した ②市内店舗の需要落ち込みに対する応援という点で、地元消費の拡大を考慮した これら2点により30%に設定しました。 今後も愛西市として有効な事業を展開したいと考えます。

【プレミアム付商品券 愛西市と津島市の比較】

世帯数はR4.5.1現在

	愛西市（23,877世帯）	津島市（26,887世帯）
臨時交付金活用 全体事業費	627,759千円 〔臨時交付金599,576千円〕	758,214千円 〔臨時交付金646,946千円〕
プレミアム付商品券 事業費	110,049千円 〔臨時交付金96,049千円〕 〔一般財源14,000千円〕	116,469千円 〔臨時交付金100,899千円〕 〔一般財源 15,570千円〕
プレミアム付商品券 事業が占める割合	17%	15%
販売冊数	30,000冊	36,000冊
購入額、 額面（プレミアム率）	10,000円 13,000円（30%）	5,000円 7,500円（50%）
地元消費効果 全冊利用された場合	390,000千円	270,000千円
販売方法	1世帯1冊は必ず購入可能 （余剰分は抽選）	1人2冊まで （抽選）
販売（抽選）状況	1回目販売14,676件 2回目販売11,671件 合計26,347件	第1次抽選17,916件 第2次抽選 183件 合計18,099件
販売状況	30,000冊 完売	36,000冊 完売
換金率	98.7%	99.7%

